

## 地元の伝統守る姿勢 求心力に

前回、企業が地域社会に根差すことが、いかに重要かを説明する中で、八木澤商店（岩手県陸前高田市）が地元の大きなイベントの本陣となっている例を挙げた。10月18日、「全国太鼓フェスティバル」が開催された際、私も同市を訪ねた。今回は、その時の様子を交えながら、八木澤商店がイベントの運営にどうかかわり、それが地域や会社にどう影響を及ぼすかなどを探ってみる。

「全国太鼓フェスティバル」は、毎年全国から太鼓打ちのグループを十数組招き、腕前を披露する参加者3000人規模の大イベントである。

八木澤商店の8代目社長、河野和義氏はこのイベントの実行委員会顧問を務め、さまざまな取り組みをしている。まず、イベントに携わる実行委員は新聞を通じて公募し、毎年、組織をゼロからつくり上げる。

毎回多数の応募があり、駐車

場管理などの裏方仕事にも多くの手が挙がる。また、イベントの企画運営は話し合いで決まっていくが、年齢、性別、立場などに関係なく、活発に意見が言い合えるオープンな雰囲気だ。

若いスタッフの中には、「会社ではなかなか自分のアイデアが採用されない。自分を認めてくれるのはこの会だけだ」と数年間続けている人もいた。イベント運営自体が地元根付き、



### 事業継承の極意

人々がそこに生きがいを見込んでいるのを感じた。

河野社長は「私はこのフェスティバルを、『陸前高田株式会社』の大きな一つの商品だと思って運営している」と話す。地域全体を「陸前高田株式会社」とする発想に新鮮な感動を覚え

いまの・せいいち 日本リクルートセンター（現リクルート）、リクルートコスモス（現コスモスイニシア）を経て1998年組織人事コンサルティング会社「マングローブ」設立。著書に『マングローブが教えてくれた働き方』（P-VineBOOKs）。

マングローブ  
代表取締役社長 今野誠一

た。

さらに、このことは社長自身が「イベント運営に携わっていないければ、人間としても経営者としても成長することができなかったら」と語っているように、八木澤商店の経営にも大きな影響を与えている。

まず、自身の会社が大規模な全国的イベントの本陣になっていることに対する社員の誇りは絶大だ。また、社長が実行委員会の運営で実践してきた、老若男女関係なく、風通しよく、家族的な人間関係の中で役割を果

全国太鼓フェスティバルで  
演じられた「気仙町けんか  
七夕太鼓」  
＝10月18日、岩手県陸前高  
田市

たし、アイデアを出し合い、盛り立てていく風土が、社内にも出来上がっている。

社長の、地域を大事にする姿勢、地元の伝統を守っていこうという使命感、そして、それを20年以上にもわたって続けていく実行力とエネルギー。これらのことを社員は畏敬の念を持って受け止めており、経営への絶大な求心力となっている。

老舗や地方の会社に限らず、社内の経営に夢中になるだけでなく、こうした地域との関係性の中で組織運営というものを考えたり磨いたりすることは、これからの時代を生き抜く重要なヒントといえる。

後継者への順調な事業継承と、地域文化の継承に果たす役割は、企業経営を豊かにする大切な両輪であるように思う。